

(補足説明資料)

## 試験研究炉等の核セキュリティ対策

事業期間 平成23～令和2年度

令和元年度予算額 0.4億円(0.4億円)

### 事業内訳と成果目標

#### 具体的に得たい指標・分析内容とその必要性

1. 原子炉等規制法に基づく試験研究用等原子炉施設及び核燃料物質等の使用施設の核物質防護規定の審査、核物質防護検査の実施(10百万円(10百万円)、実施期間:平成23年度～)
  - ① 原子力の研究開発利用に係る核セキュリティ対策を確保するため、原子炉等規制法等に基づき、核物質防護規定の審査、核物質防護検査等を厳格に実施する。
2. 新核物質防護システム確立調査(28百万円(28百万円)、実施期間:平成23年度～)
  - ① 核物質防護上の新たな脅威、核物質防護措置の実効性を評価する手法等について技術的な調査を行うことにより、核物質防護対策を強化する。

### 特記事項

- 「2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会に向けたセキュリティ基本戦略」(平成29年3月セキュリティ幹事会(令和元年7月30日一部改定))等において、原子力関連施設等の重要施設の警戒警備を強化することが提言されている。

事業計画及び事業費見込

(単位:百万円)

事業内訳	H29	H30	R1	R2	R3
① 核物質防護規定の審査、核物質防護検査の実施	核物質防護規定の審査、核物質防護検査の実施	核物質防護規定の審査、核物質防護検査の実施	核物質防護規定の審査、核物質防護検査の実施	核物質防護規定の審査、核物質防護検査の実施	核物質防護規定の審査、核物質防護検査の実施
(事業費見込)	11	10	10	8	8
② 新核物質防護システム確立調査	核物質防護上の新たな脅威等についての技術的調査	核物質防護上の新たな脅威等についての技術的調査	核物質防護上の新たな脅威等についての技術的調査	核物質防護上の新たな脅威等についての技術的調査	核物質防護上の新たな脅威等についての技術的調査
(事業費見込)	27	28	28	28	28